

主な投稿論文・口頭発表等

2004.6 2004.11

投稿論文

液クロを上手に使うコツ

初版,(2003)(丸善)
西岡亮太(大阪事業所)
本書は、高速液体クロマトグラフィー(HPLC)分析を行う技術者のための、コツやノウハウをまとめた実用書である。日常のHPLC分析で遭遇するトラブル解決のための実験上のポイントがわかりやすく解説されている。主に初心者を対象としているが、熟練したシニアクロマトグラファーにとっても有益な情報が多数掲載されている。

住化分析センターにおける欧州規制関連分析への取り組み

「MATERIAL STAGE」, 4(3) 86-89(2004)
佐竹 肇(東京営業所)
近年、欧州で自動車や電機電子機器に含まれる重金属類等化合物の使用を制限する指令が制定された。環境負荷の少ない製品を普及し、有害化学物質の環境への拡散を防止するのが目的である。そのため製品および材料中の有害化学物質の存在量を規制・管理する動きが始まっている。これら、重金属等有害化学

物質の含有量測定およびスクリーニング測定手法について当社
の取り組みを紹介した。

土壌・地下水汚染調査および対策に使用する井戸材質について
「資源環境対策」, 40(12) 112-116(2004)
大悟法弘充, 山本 勇*1, 槍山知代*2(東京営業所,*1(株)アースクリエイト,*2(株)テクノアース)
土壌・地下水汚染調査のために使用する井戸材には塩化ビニル樹脂製の井戸材が多く普及している。多くの塩化ビニル管には安定剤として鉛化合物が添加されており、再生品など安価な井戸材はその含有量は多い。土壌・地下水汚染調査として使用する井戸材仕様の規格化を至急検討すべきである。

熱分析による医薬品の安定性予測

「熱測定」, 31(4) 179-185(2004)
上田洋一, 岡本昌彦, 大神泰孝, 中井 清*(住友化学(株)), *大阪事業所)
本法は分解から計算までの解析に要する期間が約2週間であ

り、迅速である。操作は主に熱分析とクロマトグラフ分析であり、簡便である。安定性を予測するまでに要する試料量は約20mgである。さらに従来6箇月間を要した予備試験と同等以上の正確さ・精度で予測することができる。

International technology roadmap for semiconductor 2003の要求清浄度について シリコンウェーハ表面と雰囲気環境に要求される清浄度、分析手法の現状について
「エアゾール研究」, 19(3) 177-180(2004)
飯田裕幸(筑波事業所)
ITRS 2003が要求する製造環境やその中に曝露したシリコンウェーハ表面の清浄度を紹介した。空間の雰囲気中へ24時間曝露したシリコンウェーハ表面のAMCsの量が記述されている。この要求清浄度を評価するための分析方法の定量下限の現状とその方法を適用した分析結果のデータ例を紹介した。

口頭発表等

HPLCによる類縁物質試験のシステム適合性試験及び分析畑バリテーションの具体的な実施手順

煙田幸栄(大阪事業所)
技術情報協会主催セミナー(五反田 東京)
2004年6月25日

LC/MSに適したカラム選択法

西岡亮太(大阪事業所)
第13回環境化学討論会ナイトミ-ティング(グランシップ 静岡)
2004年7月7日

LC/MSを用いた環境試料中のメラミン定量法

吉田寧子, 村上雅志, 藤本英治, 竹田菊男*1, 鈴木 茂*2, 堀 雅弘*3(環境技術センター,*1千葉事業所,*2国立環境研究所,*3横浜国立大学)
第13回環境化学討論会(グランシップ 静岡)
2004年7月7日

鯨類およびヒトにおけるトキサフェンとマイレックスの汚染実態

今西克也, 川上 学, 島田あずさ, 木村義孝*, 近石一弘(愛媛事業所,*環境技術センター)
第13回環境化学討論会(グランシップ 静岡)
2004年7月7日

新規アルデヒドサンブラー(スミキャッチAシリーズCNET-A)の開発 低ブランク値を目指して

北坂和也, 島尻はつみ, 杉原輝一(大阪事業所)
第13回環境化学討論会(グランシップ 静岡)
2004年7月7日

新規アルデヒドサンブラーの開発 TFBA法とCNET法について

北坂和也(大阪事業所)
大気環境学会(大阪市環境科学研究所)
2004年7月15日

クリーンルーム空気の清浄度の管理

藤本武利(客員研究員)
リアルタイムセミナー(化学会館 東京)
2004年7月21日

低分子系キラル固定相の効率的な選別法

西岡亮太, 実原由紀, 梅原一宏, 正山敏之, 金子 弘(大阪事業所)
Separation Science 2004(東京理科大学)
2004年7月24日

ミニエンバイロメントにおける分子状汚染物質の調査

長谷部桂, 平 敏和, 藤井博史, 今井 眞*, 竹田菊男, 藤井武利*1(千葉事業所,*愛媛事業所,*1客員研究員)
第21回エアゾール科学 技術研究討論会(北海道大学)
2004年8月5日

Evaluation/analysis methods of airborne molecular contaminants/organic compounds in cleanroom

藤本武利(客員研究員)
ICCCS 2004(ボンドイツ)
2004年9月6日

スミグラフNC-220Fによる食品中の全室素(たんばく質)の分析

松本孝幸, 工藤和広, 中村勝雄, 伊藤匡正(大阪事業所)
食品開発展2004(東京ビッグサイト)
2004年9月6-7日

Detection of pesticides unregistered in japan,toxaphene and mirex, in the cetaceans from japanese coastal waters

今西克也, 川上 学, 島田あずさ, 近石一弘(愛媛事業所)
24th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs(DIOXIN 2004)(ベルリン ドイツ)
2004年9月8日

Sticking behavior of organophosphoric compounds in clean room air onto silicon wafer surface by high resolution inductively coupled plasma mass spectrometry

平 敏和, 今井 眞*, 高野秀平, 藍原弘行, 行嶋史郎, 竹田菊男, 藤本武利*1(千葉事業所,*愛媛事業所,*1客員研究員)
17thICCCS(ボンドイツ)
2004年9月8日

Sticking behavior of semi-volatile organic compounds onto silicon wafer surface in Clean room taken countermeasures against organic contamination

平 敏和, 藤井博史, 白根顕一, 野中辰夫, 今井 眞*1, 竹田菊男, 藤本武利*2, 彼谷邦光*3, 森田昌敏*4(千葉事業所,*1愛媛事業所,*2客員研究員,*3東北大学,*4国立環境研究所)
17thICCCS(ボンドイツ)
2004年9月8日

各種建築材料および吸着材の吸着等温線の測定

安宅勇二, 加藤信介*, 朱 清宇*, 除 長厚*, 長谷川あゆみ*1(吉野石膏(株)), *東京大学生産技術研究所,*1環境技術センター)
平成16年度空気調和・衛生工学会大会(名古屋)
2004年9月9日

NPEO及びその関連物質に対する分析法と現状について

吉田寧子, 伊藤あづさ*1, 村上雅志, 藤本英治, 竹田菊男*2, 鈴木 茂*3, 堀 雅弘*4(環境技術センター,*1大阪事業所,*2千葉事業所,*3国立環境研究所,*4横浜国立大学)
第7回日本水環境学会シンポジウム(早稲田 東京)
2004年9月13日

クリーンルームにおける化学汚染の評価方法

飯川利子(千葉事業所)
技術情報協会主催セミナー(ゆうぼうと 東京)
2004年9月21日

ダイオキシン類の簡易評価法

山科 清(大阪事業所)
Bio Japan 2004(新高輪プリンスホテル)
2004年9月28-29日

Development of a comprehensive analysis method using LC-MS for organic components in wastes and related environmental samples

吉田寧子(環境技術センター)
waste management 2004(ロードス島 ギリシャ)
2004年9月30日

クリーンルームに関する国際規格ISO/TC209の現状と今後の動向 AMCsの解説

藤本武利(客員研究員)
(社)日本空気清浄協会主催公開シンポジウム(総評会館 東京)
2004年9月30日

ハウスダストに付着する難揮発性有機化合物の測定

長谷川あゆみ(環境技術センター)
平成16年度日本環境管理学会・室内環境学会学術研究発表会(東海大学)
2004年10月9-11日

新規アルデヒドパッシブサンブラー(CNET-P)の開発

北坂和也, 杉原輝一, 島尻はつみ, 関根嘉香*, 大西雅之*(大阪事業所,*東海大学)
日本環境管理学会, 室内環境学会合同研究発表会(東海大学)
2004年10月9日

家具・家電製品等からの放散ガス分析法の検討

野中辰夫, 大川典子, 大橋一俊, 竹田菊男,* 藤本武利(千葉事業所,*客員研究員)
日本環境管理学会・室内環境学会学術研究発表会(東海大学)
2004年10月11日

The ultra-micro analytical methods for volatile organic compounds (VOC), so-called airborne molecular contaminants (AMCs) in outdoor air, dwelling indoor room environment (against sick-house syndrome), cleanrooms for semiconductor fabs. and for endocrine disruptors experiments

藤本武利(客員研究員)
日中環境化学連合シンポジウム(北京 中国)
2004年10月21日

Evaluation of the thermal influence to the emission from the construction materials

野中辰夫, 藤本武利(千葉事業所,*客員研究員)
日中環境化学連合シンポジウム(北京 中国)
2004年10月21日

The ultra-micro indoor air analysis methods of AMCs in cleanrooms for endocrine disruptors experiments in national institute for environment studies (NIES)

藤本武利(客員研究員)
日中環境化学連合シンポジウム(北京 中国)
2004年10月23日

環境汚染評価のためのオイル分析

梶原雅史(大分事業所)
日本環境測定協会・九州支部主催セミナー(長崎県ハウステンボス)
2004年10月28日

シリコンウェーハ表面を中心とした清浄度評価

平 敏和(千葉事業所)
情報協会主催セミナー(五反田 東京)
2004年10月28日

ダイオキシン類簡易分析法の取り組み

横堀尚之(愛媛事業所)
愛媛県環境計量証明事業協会主催講演会・研究発表会(東京第一ホテル 松山)
2004年10月29日

クリーンルームエアア-中の全りん分析法

行嶋史郎, 高野秀平, 藍原弘行, 渡邊 悟, 今井 眞*, 竹田菊男, 藤本武利*1(千葉事業所,*愛媛事業所,*1客員研究員)
プラズマ分光分析研究会講演会(中央大学駿河台記念館)
2004年11月5日

LC/MSを用いた廃棄物関連試料に対するメラミンの分析法開発

吉田寧子, 村上雅志, 鈴木 茂*(環境技術センター,*国立環境研究所)
第15回廃棄物学会研究発表会(サンポートホール高松 高松市)
2004年11月17日

ヒト・チトクロムP450組換え酵母を用いた代謝物の生産

酒井治美, 熊谷真希, 堤 正弘, 鈴木 隆(医薬事業本部バイオ技術センター)
第19回日本薬物動態学会年会(石川県立音楽堂 金沢市)
2004年11月17日

LC/MSによる不法投棄廃棄物中化学物質のスクリーニング法の検討

上堀美知子, 長谷川敦子*1, 石井善昭*2, 鈴木 茂*3, 吉田寧子*4(大阪府環境情報センター,*1神奈川県環境科学センター,*2(株)環境管理センター,*3国立環境研究所,*4環境技術センター)
第15回廃棄物学会研究発表会(サンポートホール高松 高松市)
2004年11月17日

接着剤樹脂の分析技術

松岡康子(大阪事業所)
日本接着学会主催高分子材料における分析技術セミナー(フォーラムミカサ 東京)
2004年11月18日

土壌汚染調査の技術

大悟法弘充(東京営業所)
(社)日本分析化学会主催分析信頼性実務者レベル講習会(こまはエミナース 東京)
2004年11月26日

VOC・土壌溶出成分試験法

村上雅志(環境技術センター)
(社)日本分析化学会主催分析信頼性実務者レベル講習会(こまはエミナース 東京)
2004年11月26日